

新入生保護者の皆様におかれましては、お子様の小学校卒業、そして中学校への入学を間近に控え、お喜びもひとしおのことと存じます。お子様の第五中学校への入学を、心から歓迎しお待ちしております。

## 「義務教育最後の学校として」

グローバル化や技術革新など社会構造は急速に変化し、将来を見通すことが難しい時代を迎えています。このような時代では、様々な変化に積極的に向き合い、自身の人生を主体的に舵取りしていく力が求められています。今後必要になる力を育むため教職員一丸となって取り組んでいます。



## 「本校の特徴」

本校は、学校教育目標を「友愛」「向上」「自主自律」とし、目指す生徒像を「自ら考え、判断し、行動できる生徒」としています。学校課題を解決するために4つの重点『「個に応じた学力向上」「ICT機器の積極的な活用」「豊かな心と健やかな体の育成」「保護者・地域との連携の推進」』を掲げ、教育活動に取り組んでいます。また、授業では「令和の日本型学校教育」を見据えた授業改善を推進し、デジタル学習基盤を積極的に活用しています。

### 1 本校HPの充実

生徒会や部活動、各委員会の活動など、生徒が取り組んでいる教育活動を生徒自身で作成しHPにアップしている。(進路情報説明動画)

### 2 学力向上を目指した授業改善（「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体的な充実）

デジタル学習基盤を前提として個別最適な学びと協働的な学びの一体的に充実することで、各教科の「見方・考え方」を働かせて**深い学びの実現**。

### 3 タイピング検定・文部科学省後援（日本情報処理協会検定）の実施

年間2回、希望生徒にタイピング検定を実施。

### 4 NIESU TIME（ニースタイム）の取組

ICT（デジタル学習基盤）の活用による書く時間の減少に対応する取組。

### 5 目指す生徒像の実現のための生徒会の取組

生徒会宣言の作成 自主自律の取組 今年度は、ノーチャイムデー

### 6 KWN（キッド・ウィットネス・ニュース）

KWN（キッド・ウィットネス・ニュース）とは、パナソニックグループが行っている。子どもたちの創造力、コミュニケーション能力、そしてチームワークを育むことを目的とした、映像制作を通じて

学びをサポートする教育プログラム。

3年生の総合的な学習の時間に取り組む。優秀作品は表彰する（教育長賞等）

## 7 家庭・地域の連携推進

地域の学習塾の協力を得て「五中アフターチャレンジ教室」の実施。地域の塾の協力を得て放課後に学習支援教室を実施（無償）

## 8 不登校対策（誰一人取り残さない学びの保障）

教育相談室の隣接教室を改修し学習支援教室（アスサポ）として設置  
学習支援教室（アスサポ）を3つのエリアに分割する

- ・ 自学自習エリア
- ・ オンラインエリア（教室の授業を配信）
- ・ 仲間と教師と学びエリア

## 9 教育課程の弾力的な運用

1単位時間が45分間 生徒が授業の集中できるようになった。重点指導ができるようになった。

年間1015時間から1050時間に変更 火曜日と木曜日は7時間目（GUT25分間）の実施

## 「情報活用能力の育成」

本校でも、生徒間のネットトラブルが多く発生しています。このことは学校課題として位置づけ改善策を講じていますが、情報モラル、情報セキュリティ等の情報モラル教室を1,2時間開催しても根本的な解決は難しい状況にあります。そこで、情報活用能力の育成を各教科や総合的な学習の時間で行っています。

情報活用能力とは（学習指導要領解説総則編より抜粋）

「学習活動において必要に応じてコンピュータ等の情報手段を適切に用いて情報を得たり、情報を整理・比較したり、得られた情報をわかりやすく発信・伝達したり、必要に応じて保存・共有したりといったことができる力であり、さらに、このような学習活動を遂行する上で必要となる情報手段の基本的な操作の習得や、プログラミング的思考、情報モラル、情報セキュリティ、統計等に関する資質・能力等も含むものである」

